

## 平成27年度「校外へ公開する研究授業」実施報告書

実施年月日(曜)	平成 27 年 10 月 27 日 (火)						
授業時間(時限)	13時 15分～ 14時 20分 (4 時限)						
公開学年・公開教科(公開授業名)	2 学年 文系選択講座 地理A・世界史B 『南沙諸島について』						
授業者名	山条 康弘						
形態	初任研・10年研・教育課程研究委員会・小中高算数・数学研究会・ <u>その他</u> (NIE研究指定校研究会) (○をつける)						
授業公開対象者	NIE事務局、中・高教職員、本校職員						
授業参観者数	校内		校外			その他 (NIE)	合計
	教職員	保護者	教職員	地域住民等	生徒		
	4人	0人	3人	0人	0人	4人	11人
校外の人々の参観にあたって特に配慮した取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導案の作成および配布</li> <li>・授業中に使用した資料の配布</li> <li>・校舎内案内図の作成および配布、駐車場の確保</li> </ul>						
授業研究会の時間・参加者の範囲・参加人数・参加者から出された主な感想・意見	<p style="text-align: center;">13時 15分 ～ 14時 20分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントを使い歴史的事実や事象の背景は分かりやすかったが、ポイントを板書にまとめておくと生徒が振り返った時に整理しやすい。</li> <li>・新聞記事をしっかりと読める生徒が多いと感じた。</li> <li>・自分の感想を書く場面では、書き方(最初に結論、その後に理由や根拠を述べる)まで生徒達が共有できた方が良かった。</li> <li>・非常にまじめな生徒が多いので、書いたものを交換するだけでなく、グループワークなどで意見発表をし、まとめるところまで発展させることが可能ではないか。</li> <li>・主権者教育をふまえ、多角的な視点を育てることは今後の大きな課題。</li> </ul>						
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界史の授業が一方向的に知識を伝えるだけでなく、自分で考えることができる学問であることに生徒が気づいてくれた。</li> <li>・授業に関連する画像の提示だけにとどまらず、生徒が考えるべきポイントまでまとめることができた。視聴覚教材の有効性をあらためて感じた。</li> <li>・ある程度時間を確保すれば、生徒は新聞記事をしっかりと読み込み、自分が何を感じどうすべきかまで考える事ができる。それを互いに共有できる場をどう提供するかが課題と感じた。</li> <li>・歴史的事実を説明することと、公正・中立性を担保する事とのバランス感覚を、授業者がみがいていくことが必要。また社説などの読み比べをする場合は、数社以上の新聞記事を利用することが望ましいと考えられる。</li> </ul>						